

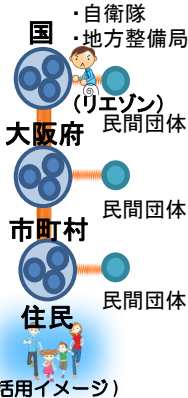
災害情報共有システム

オープンデータ・ビックデータ + 災害時の情報収集 + BCP支援

- ◆ 日々整備される防災・減災に関するオープンデータを任意に選択・重ね合わせ表示
 - ◆ 官民の都市基盤の維持管理関係者による復旧・復興を展望した情報収集と共有
 - ◆ 緊急時の対応、救援・復旧にあたる官民関係職員の安否と参集情報の収集と管理
- 防災リテラシーの向上のための訓練の積み重ねとアジャイル的開発を支援**

地域課題

住民の生命、身体及び財産を守るための連携が十分にできていない。



- ・ 国と府、市町村との連携
- ・ 災害対策現地情報連絡員（リエゾン）との連携
- ・ 自治体間の連携
- ・ 民間団体との防災協定
- ・ 職員の自市内在住率が低い（初動時の参集状況の把握が重要）
- ・ 住民・民間関係事業者・行政機関の防災リテラシーの向上を図る

構成

OSSを利用したWebMapシステム

サーバ側 : GeoServer
クライアント側 : Heron - M C

背景地図 : 地理院地図
ハザード情報 : 液状化、地すべり、浸水区域
緊急輸送道路、都市圏活断層、道路中心線、河川中心線、橋梁(大阪府)など

機能

- ・ 座標付き写真のメール送付による登録
- ・ 点、線、面、コメント、写真の登録
- ・ 災害情報の管理担当の割り付け
- ・ データの対応機関の設定
- ・ 設定の漏れ防止
- ・ ハザード情報との重ね合わせ表示（オープンデータ・ビックデータ）
- ・ 職員参集システムの追加

民間4団体連携による防災訓練

大阪府測量設計業協会、滋賀県測量設計技術協会
建設コンサルタンツ協会近畿支部、関西地質調査業協会



取組み

- ・ 組織が異なる場合の情報伝達が困難であるため、模擬訓練を繰り返しレベルアップを図る。
- ・ 民間との連携を通して、レベルアップを図る。
- ・ 模擬訓練を繰り返しレベルアップを図る。
- ・ OSSを利用したアジャイル的な開発を行う。
- ・ 行政が保有しているデータの活用、公開を推進する。
- ・ 民間の公開データの利活用を推進する。



※：災害情報共有システムを利用して、大阪府都市整備部の土木事務所、流域下水道事務所などの15組織が模擬的に情報入力を行った。(2015-09-04)

府・市町村合同地震・津波災害対策訓練 (2016-01-19)



職員参集システムによる連携(BCP支援)

10~20年後には深刻な行政の技術職員不足になり、行政職員のみで都市基盤施設の維持管理が難しくなる環境になる。そこで、民間4団体が、災害情報共有システムと職員参集システムを利用して、災害対応で役に立つ新しい組織の連携、新しい官民の枠組みの構築を目指している。

開発者 GIS大縮尺空間データ官民共有化推進協議会
(大阪府GIS官民協議会) 支援グループ

問合せ先 (一社)大阪府測量設計業協会
E-mail oosakass@oak.ocn.ne.jp